



明けましておめでとうございます。

祝 英語検定準1級合格

本校では多くの生徒が「実用英語技能検定試験」の準2級や2級に挑戦していますが、今回はなんと大学中級程度と言われる「準1級」に2名の生徒が合格しました。



受験者の合格率は16.7パーセントという難関試験です。

3年C組 溝口亜都さん、
2年C組 岩佐乃愛さん、
合格おめでとう！

「地域プロジェクト学習」の中間発表として「テーマ課題、その解決策」をプレゼンし、地域の方々から、多様な視点から助言していただきました。参加してくださった同窓会役員、育友会役員の方々、ありがとうございました。



ひびきあいの日



世界人権宣言の採択日12月10日は「人権デー」です。そこで12月11日を本校の「ひびきあいの日」とし、学校全体で身近にある人権問題について考えてみました。各クラスでテーマを決め、活発に意見交換するクラス、障がい者体験を通し、バリアフリーについて考えるクラスなどありました。


誰もが自分らしく幸せに生きる権利が人権です。みんなが「よい人生を生きる」ためには、どうすると良いのかと、立ち止まって考えるきっかけとなった日でした。




YOSHIKI.HS.OFFICIAL

吉城高校の公式Instagramです。フォローをしてください。


女子バレー部 普通科2年 平野真紅(宮中)



私たちの目標は「県大会ベスト4」です。大会や遠征後には必ずミーティングを行い、課題を見つけ、共有しながら改善するための練習メニューを考え、課題解決に向かって取り組んでいます。また、日々の練習ではコミュニケーションを大切にしながら、先輩、後輩関係なく意見が言い合える雰囲気づくりに務めています。全員で粘り強くボールを繋ぎ、最後まで諦めない気持ちで「我武者羅」にチーム一丸となって頑張ります。

バスケットボール部 普通科2年

川邊教平(古川中)



現在、男子バスケットボール部は選手5名、マネージャー3名の8名で活動しています。選手が少なく、できない練習もありますが、少ないながらも一人一人を考えてプレーをしています。目標は「地区大会一勝」です。これから厳しい練習が増えると思いますが、春のインターハイ地区予選に向けて互いに切磋琢磨して練習に取り組めます。

地域課題解決型キャリア教育「吉高地域キラメキプロジェクト」

YCK PROJECT REPORT

地域をフィールドに多様な人とのつながりが価値ある学びをつくる

第9号

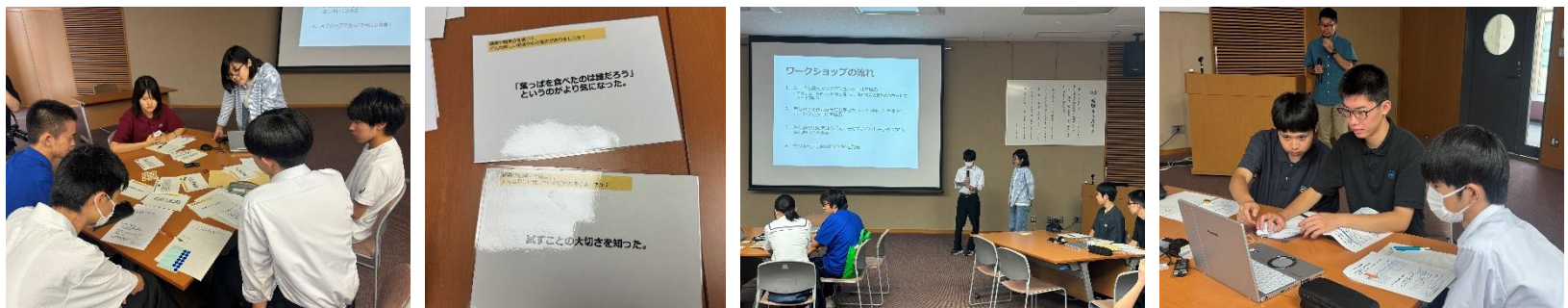
YCKプロジェクト 課外活動プログラム 「①葉っぱをたべたのは誰だろう?第2回」を実施しました!

「葉っぱをたべたのは誰だろう?第2回」

- ◆日 時: 令和6年8月10日(土)
- ◆場 所: 飛騨市役所西庁舎大会議室
- ◆参加者: 1年生(6名)、2年生(9名)、3年生(4名)
- ◆講 師: 京都大学大学院地球環境学堂 浅野 悟史准教授 他



京都大学は地域協働活動を実践しており、飛騨市をフィールドに様々な研究を行っています。このプログラムはその活動の一つとして大学生や研究者と交流しながら飛騨の里山にいる生き物についての調査を行い、飛騨の生態系について考える企画の第2回です。5月の観察会で収集された虫食いの葉のサンプルから得られたDNA情報を読み解き、環境DNAの解析作業を体験しました。さらに自然観察会における発見や気づき、環境DNA解析で得られた結果を総合的に評価し、飛騨の里山環境の豊かさについてディスカッションを行いました。



まず初めに5月開催した『「葉っぱを食べたのは誰だろう?」京都大学 浅野先生の生き物観察会』の事後アンケートを共有し、振り返りを行いました。その際、観察会中に収集された動画・写真データやGPSデータなども参照しながら、参加者の互いの体験を共有し合いました。自分に起こった変化とその背景だけでなく、他の参加者の変化とその背景を知ることで自分とは異なる考えや、体験を知ることができたり、同じ体験からこんなにも異なる思考が出てくることにとても驚きました。吉城高校では学校活動で自分の活動を振り返るということを大切にしていますが、同じ経験をした人の異なる思考に触れることで自分の思考がより広がると感じました。環境DNAを解析したところ、観察会を実施した古川町高野の岡田さんの森には多くの種類の昆虫が生息しており、その中には葉っぱを食べない虫も含まれていました。葉っぱの上を虫が歩くだけでDNAが残ることに驚きました。また、昆虫だけでなく、シカなどの野生動物のDNAも検出され、岡田さんの森は多くの生物が共存する豊かな里山であるということがよくわかりました。秋には第3回を行う予定です。

生徒のワークシートから、感想・ふりかえりの一部を抜粋しました。

異なる考えと大学の研究に触れた!

1年生	2年生	3年生
生物の授業で習ったことが生物を判定することにつながり、とても興味深かったです。またDNAの分析の高度さにとっても驚きました。DNAを実際に分析してみ、森には様々な生物が暮らしていることに気づきました。そして木々によって生息している生物の数や種類に違いがあることが気になりました。研究活動により一層興味が湧いたように思います。	グループワークを通していろんな人の意見を自分の中に取り入れることができたように思います。また、AI 検出の話聞いて、蓄積することの大切さがわかりました。いま知識がゼロでも、いろんなことを経験することで後の自分の知識になると思えたので、普段の生活の中で勉強などに活かしていきたいと思いました。	前回の里山でのDNA採取の結果から昆虫だけでなく、クモやシカなど、様々な生き物があの場所で生活していることが分かった。今まで授業で習っていたATGCの塩基配列が実際にあるのを見て、とてもわくわくした。実際に山に入って目で見るだけでなく、この方法でもどんな生き物がいるかが調べられると知り、面白かった。

4 質の高い教育をみんなに

15 陸の豊かさも守ろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう

ご意見・ご感想などは、吉城高校・キャリア推進部までお問い合わせください。

☎ 0577-73-4555

